



# 中国

## 中国ってどんな国?

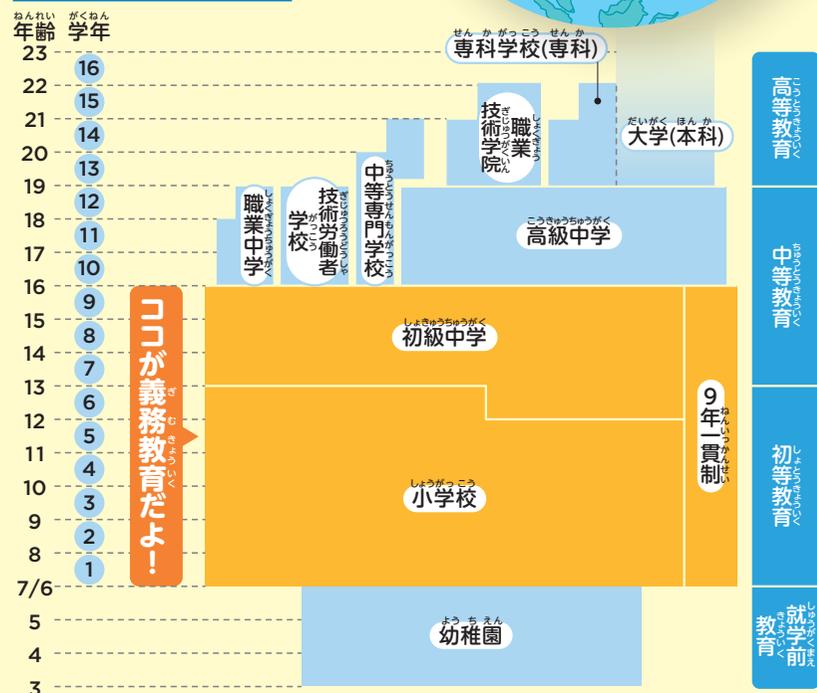


- 国名** 中華人民共和国
- 面積** 約960万km<sup>2</sup>
- 人口** 約14億人
- 首都** 北京
- 言語** 中国語
- 通貨単位** 人民元

出典：外務省「国・地域」  
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/china/data.html>を加工して作成。

世界一人口の多い国。盆地や高原、砂漠など多様な地形が広がるため、気候も亜寒帯や温帯を中心にさまざま。豊富な資源と多くの労働力を活用し急速な経済発展をとげています。

## 学校の制度



出典：文部科学省「世界の学校体系」を加工して作成。

中国の義務教育は、6または7～15歳の9年間です。日本の小学校にあたる初等教育は6歳入学(地域によっては7歳で入学の場合)で6年間行われます(一部に5年制や9年一貫制もある)。3～4年間の初級中学までが義務教育です。

## 小学生の1年間



中国の小学校は、新学期が9月に始まる2学期制です。授業は月曜日から金曜日まで行われます。国語、算数、英語、科学、自然、道徳、体育、絵画などを学びます。また「総合実践活動」という科目が実施される学校もあり、授業で情報技術教育やボランティア活動などを行っています。

## なるほどトピックスと日本とのつながり

### 長い歴史を持つ東アジアの大国

長江や黄河の流域に古代文明が栄えた長い歴史を持つ国です。人口の9割以上を「漢民族」が占めていますが、「チベット族」や「ウイグル族」など言葉や習慣の異なる50以上の少数民族もいるため、文化は多彩です。歴史的な遺産もたくさん残っており、人類史上最大の建造物と言われている「万里の長城」や紀元前の陵墓である「秦の始皇帝陵」などの世界遺産も数多く点在し、観光スポットとして人気を集めています。

世界各国から観光客が訪れる万里の長城。



### つながり

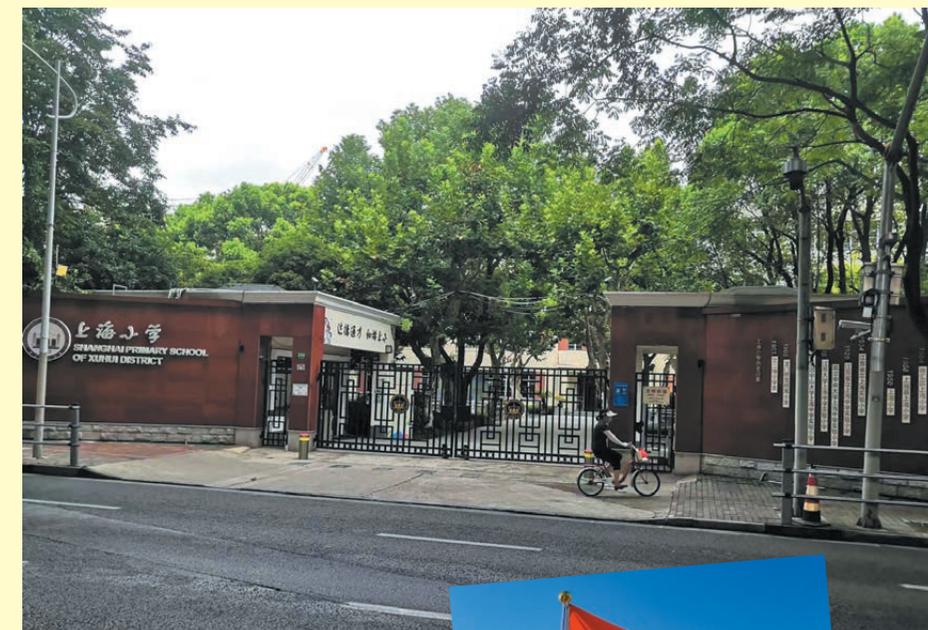
中国は現在、アメリカと並ぶ日本の最大の貿易相手国。中国との交流は「遣隋使」や「遣唐使」などにより古くから行われていて、大陸から多くの文化が日本へと伝わりました。おもなものに、采作りや仏教、漢字、貨幣、中華料理などがあります。中華料理と一口に言っても、地域ごとに料理法や味つけに大きな違いがあり、その差からも中国という国の広さがうかがえます。

## 中国の小学校へ潜入!

### 日本との違い

中国の小学校では、基本的に登下校は親の送り迎えが必要です(学校によっては、高学年からは子どもだけで通学できる場合もある)。

日本の小学校と大きく異なるのは、学校への親の関わり方です。参観日などはなく、保護者が参加する活動は基本的に懇談会以外ありません。その代わりに、行事などの様子はチャットツールを通じて、家庭で見ることができます。



上海市徐匯区にある公立小学校。

国際都市の上海は、街並みも整備されていて、通学しやすいそうです。

端末から、学校の行事の様子などのほか、お知らせも見ることができます。



登校して授業が始まる前に、毎朝、国旗を上げて、全員で国歌を歌う時間があります。

## 学びの特徴

中国の小学校の特徴は、午前4時限、午後3時限などと、授業時間が長いことです。中学生になると毎日8、9時限まである学校もあります。

授業は教科担任制で、道徳以外の科目はほとんど専任の先生が教えています。そうした専任の先生には、担当の科目に必要な学歴と資格が求められています。

また、中国の公立小学校にはプールがほとんどないため、体育で水泳を習うことはありません。体育の授業はグラウンドや体育館で行える内容です。たとえば、跳び箱や縄跳び、陸上競技、球技などが行われています。

## 放課後風景

放課後は、部活動や習い事をしている子どもが多いそうです。今、中国で人気の部活動はバスケットボールとダンスです。

習い事で人気なのは、ピアノやテコンドー、プログラミング。特にプログラミングは、今後さらに多くの人が必要とされるIT産業に関わる人材を育てるために、教育熱心な家庭でより注目されています。



放課後、家の手伝いをする子ども。おかあさんと一緒に、料理をしています。

## 中国語の発音と単語練習の教科書。



中国の国語の教科書。



教科書の表紙。左から、国語、読解、発音と単語練習です。

町のあちこちにゴールがあってストリートバスケットも盛ん!



日本では校庭に野球ができる設備やサッカーゴールが置かれていますが、中国の校庭にある運動施設の多くはバスケットゴールだそうです。中国出身の選手がNBAで活躍したこともあり、バスケットボール人気がとても高いです。

取材協力：一般社団法人世界マザーサロン／浅野ゆき

# 韓国

## 韓国ってどんな国?



国名 大韓民国

面積 約10万km<sup>2</sup>

人口 約5,163万人

首都 ソウル

言語 韓国語

通貨単位 ウォン

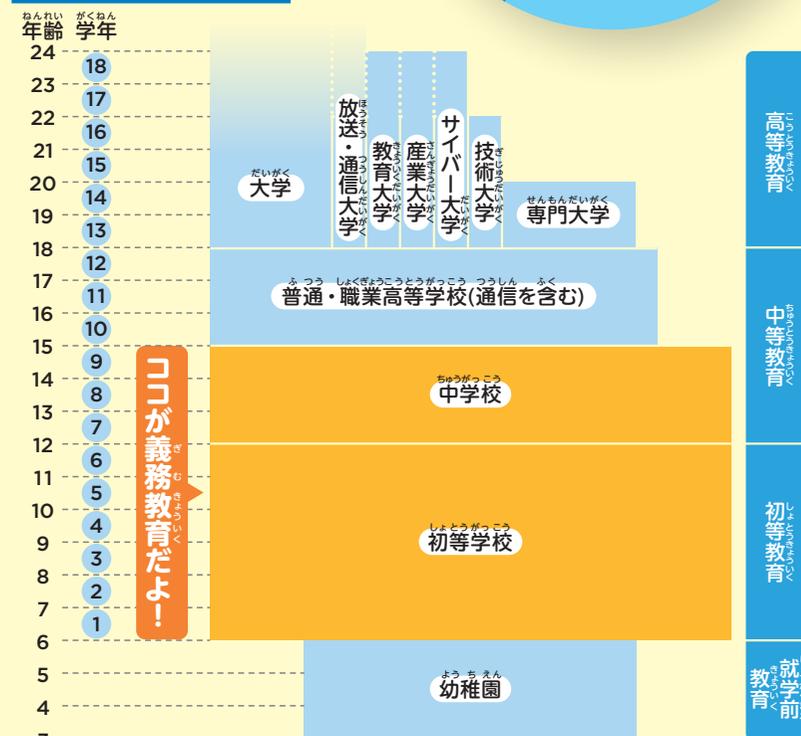
出典：外務省「国・地域」  
(<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/korea/data.html>)を加工して作成。

大韓民国、通称韓国は朝鮮半島の南部に位置する日本に一番近い国。東京から首都ソウルへは飛行機で約2時間半で行くことができます。日本と同様に四季がありますが、韓国の冬はとても寒く、乾燥しています。

## 小学生の1年間

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1学期			夏休み		2学期			冬休み (この間、登校日がある場合もある)			

## 学校の制度



ココが義務教育だよ!

出典：文部科学省「世界の学校体系」を加工して作成。

韓国の義務教育は、6～15歳の9年間です。日本の小学校にあたる初等教育は6歳入学で6年間行われます(制度上は5～7歳でも入学は可能だが、多くはない)。中学校で行われる3年間の前期中等教育までが義務教育です。

韓国の小学校は、新学期が3月に始まる2学期制です。授業は月曜日から金曜日まで行われます。国語、算数、英語、科学、社会、道徳、体育、音楽、美術などを学びます。「創造的な体験活動」という時間もあり、職業体験など創造性を育む工夫をこらした授業が行われています。

# なるほどトピックスと日本とのつながり

## 伝統や礼節を重んじるアジアの隣国

韓国の人々は、親や年上の人を敬う儒教の教えを大切にしています。伝統的な民族衣装や行事なども大切に受け継がれていて、キムチ作りもその1つです。いろいろな種類のキムチがあり、地方や家庭によって味が異なります。日本と同じように米が主食で、みそやしょうゆなどの調味料も使いますが、唐辛子をふんだんに使うのが韓国料理の特徴です。

韓国人の食卓に欠かすことのできない伝統料理のキムチ。



## つながり

韓国と日本は昔から関わりが深く、古来よりたくさんの方が行き来してきました。近年の韓国は、自動車や半導体などの産業が急成長し、私たちの身のまわりでもたくさんの韓国製品を見ることができます。また、文化的な交流も増え、韓国で日本のアニメやまんがが流行する一方、日本でも韓国の音楽やテレビドラマが人気となっています。2002年にサッカーワールドカップを日韓で共同開催するなど、スポーツの交流も進んでいます。

## 学びの特徴

韓国の小学校の授業は「ブロック授業」といって、1、2時間目、3、4時間目をまとめて行います(80分程度)。ブロック授業では、2コマ同じ教科を集中して学ぶことができます。効率化することで、放課後、子どもたちが自由に学んだり遊んだりする時間が増えるのもメリットです。

授業は担任がほとんどの教科を教えますが、音楽、芸術、体育、英語には専任の先生がいます。特に英語は国の教育支援庁が後押しして指導者の研修を行うなど、公立小学校でもハイレベルな英語教育が行われています。



創作活動の授業中。



国語の授業中。

みどりとういっ  
緑で統一  
されていて  
きれいだね



公立小学校の  
教室の様子。



韓国の小学校の教科書。左上から2冊が数学、右上2冊が国語、下段左から科学、実験観察、音楽、社会。

## 放課後風景

放課後、子どもたちは塾や習い事へ行くことが多いようです。学校が外部の講師を招いて、授業とは別の有料プログラムを学校内で行うこともあります。プログラムは学校によって異なりますが、運動、音楽、芸術、語学に関するものや、ゲームなどのほか、英会話や化学実験、ロボット科学、コンピューターなど、勉強に関わるものもあります。



ピアノのほか、絵画の習い事も大人気です。



ピアノは韓国でも大人気の習い事。男女どちらもたくさん習いに行っています。



じわじわと人気が上がっているのが、実験の習い事です。

## 韓国の小学校へ潜入!

### 日本との違い

韓国の小学校ではホームページやアプリを使ったインターネットを介した情報発信や情報伝達が、日本よりも積極的に行われています。子どもそれぞれのIDで学校のサイトへアクセスすれば、プリントのお便りに頼ることなく、行事予定や学習情報、授業中の写真、学校からの伝達事項などを確認することができます。



いつでも見られて便利!

スマホから、学校の給食のメニューも見るができます。



京畿道龍仁市にある公立小学校。



同じく京畿道にある別の公立小学校。

取材協力: 一般社団法人世界マザーサロン/Tai Chewpheng